



通学路交通安全キャンペーン 7月11日

夏の交通安全県民運動（7/11～7/20）に合わせて、7月11日は通学路の交通安全指導を行います。

次の写真は、約1ヶ月前に、市の道路管理課のとみまつ隊に来ていただき、低・中・高学年に分かれて、実施した交通安全教室の様子です。



低学年では、腹話術を使って、楽しく、道路を歩行するときに気を付けることを教えていただきました。お話の後、子どもたちは、教えてもらったことをきちんと守って、横断歩道の歩行練習に臨んでいました。



そして、中学年では、自転車の乗り方やヘルメットのかぶり方を指導していただきました。それから、高学年は“車は急に止まれない”ことを実験を交え、実際に見せてもらいながら学びました。

また、すべての学年で、八郷西小学校の通学路について、見通しの悪いところや車が多く走っているところ、信号のない交差点など、注意する必要がある場所を具体的に写真で示していただきました。

通学路交通安全キャンペーンは、子どもたちの学びをより確かなものにするよい機会ですね。市内の交通事故は、十字路の交差点で多く発生しているそうです。ぜひ、ご家族でも、校区内の交通安全についてや道路のわたり方、自転車の乗り方等を確かめ合っていただけるとよいかと思います。よろしくお願いいたします。



なお、1年生では、7月12日（火）に、下校時における警察官通学路同行交通安全指導が実施される予定です。

メディアリテラシーの学習（3年生）

『ヒューリアみえ』（公益財団法人反差別人権研究所みえ）の安田賢行先生を講師としてお招きし、3年生が、メディア・リテラシー（情報を正しく利用するためのスキル）の学習をしました。



子どもたちは、まず、「人権」とは、誰もが安心して暮らせたり、幸せになったりすることができる権利であり、すべての人が持っている貴重な権利であることを学びました。

ところが、SNSの普及によって、近頃、人を傷つけたり、傷つけられたりするケースが増えています。

インターネットやオンラインゲームは、便利だったり、人と出会うことができたりするけれど、その反面で、トラブルに巻き込まれる恐れがあること、加害者にも被害者にもなりうることを学びました。

子どもたちは、互いの人権が守られるために、どんな使い方をするとよいかを、真剣に考えていました。発表しようとピンと手を挙げる姿や「わたしだったら・・・」と、自分こととして考えなかまに向けて発表する姿があり、安田先生からたくさん「ありがとう」の言葉を返してもらっていました。素敵です。この日は、3年生の教室で、☆キラリ！かがやき☆を見つけました。

メディアとの付き合い方について、子どもたち自身が考える機会となったことに感謝したいと思います。



本校では、すべての学年で、メディアリテラシーと情報モラルの学習を一学期に行いました。情報は、鵜呑みにするのではなく、取捨選択したり、立ち止まって考えたりすることが大切です。そして、何か困ったときには、早めに家族（大人）に相談することを伝えています。メディアを安全に正しく使い、学習に生かしていくために、家庭と学校が連携して、子どもたち自身がルールを考え、守っていくことを支えていきたいと思っています。

お礼とお知らせ

- 7月5日（火）の登下校では、保護者や地域のたくさんの方に、子どもたちを見守っていただき、ありがとうございました。「おかえり」と声をかけられ、嬉しそうにしている子どもたちも見かけることができました。今後も、自分の命を守る防犯教育を、繰り返し行ってまいります。
- 登下校の荷物が減るように、家庭学習で使わない教科書等は、学校に置いて帰るよう指導しています。また、タブレットをカバンに入れて持ち帰ることができるように、PTA 役員の皆様と協議し、クッションケースを購入することにしました。タブレットを安全に持ち帰り、手荷物を減らすことを目的にしています。ご理解いただきますようお願いいたします。



- 四日市市がポータルサイトを開設しました。学習で使えるプリント教材や動画等が掲載されています。そして、タイピング練習やプログラミング学習も可能です。本校でも、夏休みに向けて、タブレットを使った家庭学習を進めていますので、一度、夏休み前に「こにゅうどうくん学びの部屋」を使ってください。（子ども用タブレットのデスクトップにアイコンがあります。）